実施状況調査報告書（スポーツ振興くじ助成）

■活動概要

助成年度	令和 6 年度
助成団体	公益財団法人日本オリンピック委員会
事業細目名	スポーツ活動推進事業
事業名	JOC ナショナルコーチアカデミー事業
助成金額	9,804,000 円

令和 6 年度スポーツ団体スポーツ活動助成（スポーツ指導者の養成・活用（スポーツ））を活用し、公益財団法人日本オリンピック委員会（以下、「JOC」という。）が開催する「JOC ナショナルコーチアカデミー事業」の実施状況について調査を行いました。

本事業は平成 20 年度から開催されている、日本における最も重要な指導者養成プログラムの 1 つです。「世界で通用する選手の育成」に携わる「世界で戦える高い志と情熱を持ったコーチの養成」を目的に、現在は、コーチング・マネジメント・コミュニケーションを 3 つの柱としてカリキュラムを実施しています。JOC が承認する各中央競技団体（以下、「NF」という。）のナショナルヘッドコーチ及びチームコーチには、本事業の受講が義務付けられています。

■助成の意義

くじ助成を活用することにより、本来物価上昇に伴う受講料の値上げが必要となる中、従来通りの受講料で事業を実施することが可能となっているそうです。さらに、受講者数の増加に伴う業務量の増大に対応するため、適正なスタッフ数を確保できたことは、安全管理の徹底や個別指導の充実に直結しており、事業全体の質的向上に大きく寄与しているとのことです。

本事業が開始される前は、競技を横断した指導者養成の講義実施があまりなかった中、競技間を越えた受講者通しの繋がりができたことで、各指導者への良い刺激となり競技力向上の一助となっているとのことでした。

■事業効果を高めるための取り組み

毎年度のプログラム内容は、本事業のワーキングメンバーが年間 5 回程度集まり、各分野の専門的視点から意見を出し合い、協議の上で決定しているそうです。また、例年受講者に対してアンケート調査を実施しており、良かった点だけでなく、改善が必要とされた点やネガティブな意見も含めて収集しています。これらの意見を踏まえて、翌年度のプログラム構成や運営方法の改善を行うことで、受講者の学習効果向上と事業全体の質の向上を図っているそうです。

また、正規コースには入り切らない、参加者や情勢に合わせた内容を集中プログラムとして実施しており、令和 6 年度においては受講者の希望もあり女性コーチのキャリアに特化した内容を実施したとのことです。

■その他

4 年に 1 度のオリンピック開催年度は、プログラムの事前準備及び調整に最も苦慮されるそうです。例年は、6 月～9 月及び 10 月以降の 2 回に分けたスケジュールでプログラムを実施されますが、オリンピック当該年度は大会開催後である 9 月～11 月における開催となり、オリンピックにおける最新の情報を取り入れた内容を実施することから、大会終了後から開講期直前まで調整が必要になるためです。令和 6 年度事業においては、パリ 2024 開催期間中から関係者と信頼関係を築いたことにより、直前での調整を無事終えることができたとのことです。

本来は本事業の受講を終えたコーチが、オリンピックサイクルである 4 年間を継続して各 NF のコーチとして務めることが望ましい形であると考えられていますが、NF 内の体制変更により受講を終えたコーチがすぐに交代されてしまうことも多く、例年の課題として挙げられています。

■所感

本事業においては、受講生のニーズ及び社会情勢としてコーチに求められる能力が年々多様化していることを踏まえて、柔軟なプログラム設計が求められていることを実感しました。コロナ禍を経たオンライン受講体制の整備に加えて、女性コーチに特化したプログラムや、子育て中の受講生への支援などの取り組みを積極的に進められている点が印象的でした。

本事業を実施していくことで、各指導者間の連携及び意識醸成が進み、今後の事業の更なるご発展と日本の競技力向上に寄与されていくことを期待しております。

（令和 7 年 11 月 12 日 WEB 会議形式）

（写真） JOC ナショナルコーチアカデミー事業の様子

（※提供：公益財団法人日本オリンピック委員会）



